

秋田大学教育文化学部 学校教育課程 家庭科教育研究室

家庭科教育研究室では家庭生活を科学的な視点でとらえ、生涯を見通した家庭生活の実現に向けて主体的に取り組める意欲を持った児童・生徒を育成する指導力を身につけることを目指しています。そのため、学生自身が現在身につけている家庭生活に関する知識・技能、考え方などを見つめなおし、講義等を通してできることをさらに増やし、自信を持って指導にあたる基盤づくりを行っています。

また、大学4年間を通して、家庭科の専門性を高めるだけでなく、社会人も高め、小・中学校の教員だけでなく様々な職業に従事できる力も育成しています。

☆卒論のテーマ

学生それぞれの問題意識に基づきテーマを決定し、研究に取り組みます。

- ・ 地域が支える女性の活躍 ー秋田県の現状と課題ー
- ・ 秋田県の行事食の継承と課題 ー年末年始の行事食の事例を通してー
- ・ 青森県における六次産業化の現状と課題
- ・ 家庭科食生活分野の指導効果を高めるための一考察
- ・ 過剰除去に着目した家庭系の食品ロスの現状と課題
- ・ 子どもの可能性を広げる学習支援のあり方 ～秋田市の貧困家庭に着目して～
- ・ 秋田の若者の結婚観 ～よりよい結婚生活を送るための一考察～
- ・ 大学生の家事力向上のための提案 ～よりよい夫婦関係の構築を目指して～
- ・ 食事記録を活用した健康向上を目指して～成年期を対象とした一考察～
- ・ 大学生の結婚観の育成ー後悔しない「結婚」の選び方ー

など

☆進路実績

エントリーシートの作成や筆記試験対策、面接対策など学生の希望に応じて支援しています。

小学校教員、中学校教員、地方自治体職員、国家公務員
民間企業（銀行、食品メーカー、建設会社、人材派遣会社 など）

☆講義風景

<家庭科教育学演習>

教科内容を学習し、授業を組み立てて実践します。



<食生活実験・演習>

食品の性質の理解や調理技能の獲得・向上をめざします。

